

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 5 月 21 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

引き続き基本数値 (9 ・ 17 ・ 26 ・ 33 ・ 42 ・ 65) の使い方についてご説明します。(前回までのレポート参照)

6753 シャープの日足チャートをご覧ください。相場の出発点である 2 月 1 日安値 1278 円を 1 日目として、ここから基本数値を当てはめてみました。

まず、最初の高値は 2 月 14 日の 1530 円。これは相場の出発点の 2 月 1 日から **9 日目**にあたります。

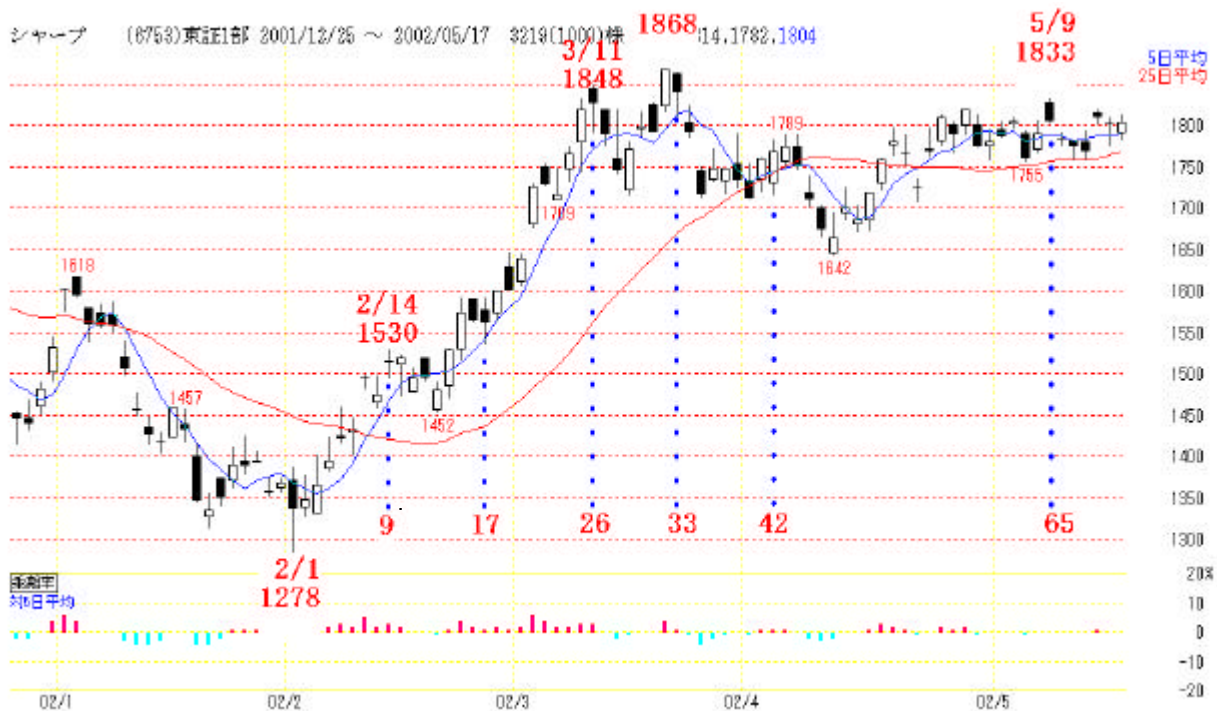
次の基本数値は **17**。17 日目はチャートにあるように大きく上昇を始める直前の安値にあたります。ここから一気に上げて 3 月 11 日高値 1848 円は **26 日目**。このあと微調整に入りますが、また切り返して 3 月 19 日高値は 1868 円、これは 32 日目、すなわち **33** に対する誤差 1 日。

42 日目はこれと違って変化がありません。しかし、しばらく調整したあと 5 月 9 日に戻り高値の 1833 円をつける。これは **65 日目**...

基本数値に該当する所がいずれも転換点になっているわけです。

このように相場の出発点から基本数値を当てはめていき、それに該当する所が**変化日**になると覚えておいて下さい。

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。